

社会資本総合整備計画（活力創出基盤整備） 事後評価書

平成 27 年12月 2 日

計画の名称	8 広域的な交流・連携の充実による地域の自立・活性化を図る道路整備		
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度（5年間）	交付対象	美作市
計画の目標	地域内外との広域的な交流・連携ネットワークを充実させるため、幹線道路・中心市街地・観光施設・公共公益施設へのアクセス改善による地域の自立・活性化を図る道路整備を行う。		

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
建設部（建設課）、経済部（観光振興課）、企画振興部（企画情報課）	・平成27年 12月
	公表の方法
	・美作市ホームページに掲載する。

○事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・美作市田淵地内の市道川北田淵線（第一工区）改良工事が完成した。 ・美作市小野・小房地内の市道西谷小房線改良工事が完成した。 ・美作市位田地内の市道畑畑位田線改良工事が完成した。 ・市内の主要な観光施設（4箇所）にインターネットと連携した情報案内看板（デジタルサイネージ）を設置した。 ・勝田、大原、英田地区に利用者駐車場付バスステーションを整備した。 		
--------------------------------	--	--	--

II 定量的指標の達成状況	指標①（総移動時間短縮率）	最終目標値	49.0 %	総合判定	目標値と実績値に差が出た要因	優先する路線の整備を図ったため、全線供用開始が未達成となり目標値を下回ったものである。		
		最終実績値	30.6 %				B	
	指標②（円滑な移動の支障件数）	最終目標値	16 件	総合判定	目標値と実績値に差が出た要因		-	
		最終実績値	16 件					AA
	指標③（公共交通機関利用可能カバー率）	最終目標値	100.0 %	総合判定	目標値と実績値に差が出た要因			-
		最終実績値	100.0 %					

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)	勝田地区に整備した利用者駐車場付きバスステーション整備に併せ、民間バスを含め周辺に点在したバス停の集約を行うと共に、乗り入れバスの時刻調整を行ったことにより、利用者の乗継時の利便性向上また、待合所の設置により快適な待ち時間を過ごすことができ、美作市バスの利便性の底上げにつながった。
--	---

3. 特記事項（今後の方針等）

<ul style="list-style-type: none"> ・残りの事業については、社会資本総合整備総合交付金事業により継続して整備を進めていく予定である。 ・早期の全線供用開始による事業効果の発現を図るために、進捗状況の管理を徹底する。
--

最終間実績値は整備計画における最終年度末の実績値のことをいう
 ※ 最終達成率は（最終実績値/最終目標値）×100で求められる値のことをいう
 ※ 最終年度における評価基準は下記のとおりとしている
 AA・・・最終達成率が100%以上
 A・・・最終達成率が80%以上～100%未満
 B・・・最終達成率が60%以上～80%未満
 C・・・最終達成率が60%未満